

生涯研修に **チャレンジ!**

あなたも

認定介護福祉士

目指しませんか!



静岡県では全国に先駆けて認定介護福祉士養成研修を実施しています!!

これからの介護福祉現場・地域では介護サービスの提供だけでなく、多職種との連携や資質の向上の責務が課せられるなど、幅広い役割を担う介護福祉士が求められています。介護福祉士のリーダー的な存在となる認定介護福祉士を養成しています!



認定介護福祉士を目指すための生涯研修制度の流れをご紹介します!

当会の認定介護福祉士養成研修を受講される方は、①基本研修 ②ファーストステップ研修の受講は必須となります。下記の順番で受講してください。

☆介護福祉士に合格したらスタート!

介護福祉士**基本研修**

日程:4日間/受講料:会員18,000円 一般35,000円

受講要件 : 介護福祉士資格取得後2年未満を対象(2年以上でも結構です)

勤務年数に関係なくすべての介護福祉士に受講していただきたい研修です。

実務経験で積み上げてきた実践値(知)を踏まえ、基本に立ち返り、介護過程の展開を中心に学んでいきます。生活支援としての介護の視点や自立支援の考え方、アセスメントや個別援助計画の立案など現場実践に繋げることを目的とします。

介護福祉士**ファーストステップ研修**

日程:15日間

受講料 会員80,000円

受講要件 : 基本研修修了者で資格取得後2年以上の実務経験を有する者

的確な判断、対人理解に基づく、尊厳を支えるケアの実践、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できるレベルの視点や技術を有する職員を養成します。

認定介護福祉士**養成研修**

受講要件 : ①介護福祉士資格取得後5年以上の実務経験者

②100時間の現任研修受講歴を提出すること(当会ではファーストステップ研修修了としている) ①②を有する者

【介護実践力】【マネジメント力】【協働する力】を学びます。研修はI類13科目、介護福祉士養成課程では学ぶことが出来ない知識、医療・リハビリ・福祉用具と住環境、認知症、心理・社会的支援等、II類9科目、I類の知識をもって、指導力や判断力、サービスの種別を問わずその人にあった最適なケアの提供、リハビリ等の知識を発揮し日常生活における機能の維持向上、個々の障がい者の特性に応じた適切なケアの実践や介護サービスマネジメント、介護と医療の連携強化、地域包括ケア等に対応する考え方、知識、技術を修得します。科目数22科目、受講日数44日間(静岡県)課題時間等併せて600時間になります。(詳細は 一般社団法人 認定介護福祉士 認証・認定機構 URL:<http://nintei-kaishi.or.jp>)

Step
1

Step
2

Step
3

修了生・受講生の声をご紹介します！



Step
1

介護福祉士**基本研修**

* 基礎的な事を含め再確認できた。介護過程の展開は何度考えても難しいと感じる。グループワークを通じて個人よりもチームの方が広い視点で考えることが出来ると感じた。色々な着眼点があっていいし、それぞれの気づきがあるので今後、よりチームケアが大切になってくるのだと感じた。今回は目的が一緒の人達で最終的にはまとまったが、普段ではなかなか大変だと思う。みんなの前でロールプレイをするのは久々であったが、時にはこういう緊張感が必要かなと思った。

* 演習の中でたった5行の情報でも様々な気づきや問題があることを感じ、専門職としての洞察力や情報分析の大切さを痛感した。

* 医療的知識では利用者さまの既往症や現病についてもっと理解を深めたいと感じたし、災害時介護福祉士としてできることが多くあることを痛感した。

* 介護過程の展開は学生以来の学びだったので新鮮であり、介護福祉士として改めて必要だと強く感じた。普段のケアも根拠があるので、書式に記載していくことで自身が意識でき良かった。

Step
2

介護福祉士**ファーストステップ研修**

* ただ技術を習得するだけではない。まずは「尊厳を支える」という意識を大切にすることから介護技術は磨かれるのだと感じた。

* 同じ思いを共有できる仲間がたくさんいると知り、前向きに介護と向き合えるようになった。

* 伝えたいことを言語化する講義、演習をすることで演習中や職場での発言が多くなった。

* 介護職の役割、チームアプローチの意義と目的、多職種連携・協働のために技術を理解し、利用者の望む生活実現に努めること。このことが介護福祉士の責務であり、積極的に進めることが中堅職員の役割であることを演習を通して理解できた。お互いの理解のためのコミュニケーション、自己研鑽の大切さを実感する研修であった。

* その人らしい生活を送って頂くために気づき、洞察力をつけ、環境面を整えていくことをチームで話し合い、専門性を活かしてサービス提供していくことの重要性を強く感じた。

Step
3

認定介護福祉士**養成研修**

* 一言でいうと、奥が深いということです。これでよいということがなく、これをするためには、これもやらなくてはならない、こんなことも必要だということが次から次へと出てきます。でも、受講生同士一緒に考えたり、助け合える仲間なので頑張らなくてはいけません。一つの目標に向かう、素晴らしいチームですね。

* 今後認定介護福祉士取得後の役割に「発信」があると思われる。改めて役割及び発信内容(尊厳・利用者本位・自立支援等)の再確認が自分の中ででき、新たな課題も見つけることができた。

* 自職場は、教育研修体系があり自分も研修を受け持つ立場にいる。省察しながら、講習を受けた。今まで職員の定着、サービスの向上において人材教育の必要性は認識していたが、気持ちの中で、職場は学校ではないので強制参加や評価テストの実施について消極的であった。しかし、成人学習に関する原則やインストラクショナルデザインを学び、理論立てて考えていくことで、どの段階の人達になぜ、何を学んでほしいか明確にするのが大事で目標管理を通じてモチベーションが足りていないことがわかった。また、研修結果が現場の効果として表れているのかわからなかったが、職員の問題ではなく、研修計画においてインストラクションや授業デザインを考慮していなかったからだとわかった。今後の研修計画において学んだことを活かしていこうと思う。